

一般社団法人日本周産期・新生児医学会

若手研究者派遣助成

20th Congress of the FAOPS in Manila
September 23-26, 2018

日本周産期・新生児医学会では、アジア・オセアニア周産期学会 2020 東京の開催に向けて準備を進めております。

第 19 回 FAOPS in Taipei と同様に、第 20 回 FAOPS in Manila でも若手研究者派遣助成を行うことになりました。多くの若手研究者の応募を期待しております。

日本周産期・新生児医学会 渉外委員会委員長
FAOPS2020 TOKYO 会長
慶應義塾大学医学部 産婦人科学教室 田中 守

助成対象

以下の条件を満たす研究者

- 1) 第 20 回 FAOPS in Manila に筆頭演者として演題登録を終えていること
- 2) 2018 年 4 月 1 日現在、45歳以下であること
- 3) 日本周産期・新生児医学会の会員であること

注:助成対象として選考された場合、参加後に英文での参加報告の提出を必須とします。

助成金額

総額 100 万円 一人あたり 10 万円×10 名

応募者多数の場合は、渉外委員会で選考(若年者優先)

申請〆切

2018 年 6 月 15 日

(FAOPS2018 の deadline of Abstract Submission)

申請方法

若手研究者派遣助成申請(<https://www.jspnm.com/FAOPS/docs/FAOPS2018shinsei.docx>)

にご記入の上、日本周産期・新生児医学会事務局 kaiin@jspnm.org 宛に送付してください。メールのタイトルに【FAOPS】を表記してください。

(FAOPS2018 に演題登録の際に同時に学会事務局へ送付してください)